再生する

HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)
- ディスクを入れる。

1 HDD または BD/DVD を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

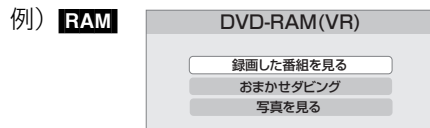
- DVD を再生するときは「BD」を選んでください。

2 再生 を押す

HDD :最後に停止した位置から再生
BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW :最初に記録された番組から再生
BD-V DVD-V :ディスクが指定した位置から再生

- ただし、続き再生メモリー機能(➜46「停止」)が働いている場合は、停止した位置から再生します。
(BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります)

録画した番組を再生する

記録可能なディスクを入れると、下記の画面が表示されます。
例) RAM

[▲][▼]で「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、右記の手順 3に進むことができます。

お知らせ

- ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクでハイビジョン画質の番組を再生するには、**初期設定**「AVCHD優先モード」を「切」にしてください。(➜103)

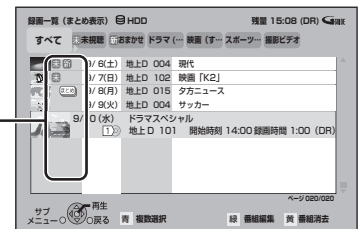
録画一覧について(➜43)

1 HDD または BD/DVD を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

- DVD を再生するときは「BD」を選んでください。

2 録画一覧 を押す

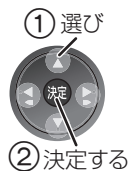
3 番組を選び、決定 を押す

表示マーク
(➜132)

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

お知らせ

- BD-V 市販の映画などが記録された BD ビデオは、DRモード以外で録画中に再生することはできません。また、再生中に DR モード以外の予約録画が始まると再生を終了します。

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

項目を選び、決定 を押す

メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中: [サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中: [録画一覧]を押す
DVD-V [録画一覧]を押す
([サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ)

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中: [録画一覧]を押す

再生する(つづき)

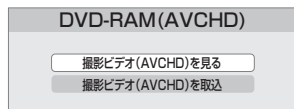
撮影したハイビジョン動画 (AVCHD) を再生する

AVCHD 対応ビデオカメラで撮影し、ハイビジョン動画(AVCHD)が記録されたディスクやSDカードを再生することができます。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ 1 など)
- ディスクまたは SD カードを入れる。

ディスクまたは SD カードを入れると、下記画面が表示されます。
例) RAM

DVD-RAM(AVCHD)
撮影ビデオ(AVCHD)を見る
撮影ビデオ(AVCHD)を取込

「撮影ビデオ(AVCHD) を見る」を選び、**[決定]**を押すと、右記の手順**4**に進むことができます。

お知らせ

- ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクの場合、**初期設定**「AVCHD 優先モード」を「入」にしてください。(**➜103**)
- 再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。
- 録画中に再生する場合、DR モードで録画中のみ再生できます。
- USB 機器を接続して、直接再生することはできません。
- 2倍速対応以下の DVD に記録された高画質(転送レート約 18Mbps 以上)の動画は、正しく再生できません。

1 停止中に、[スタート]を押す

2 「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SDカード」を選び、[決定]を押す

3 「撮影ビデオを見る」を選び、[決定]を押す

- 再生するディスクや SD カードのトップメニューが、
  - ・作成されている場合　　:トップメニュー画面を表示
  - ・作成されていない場合　:撮影ビデオ (AVCHD) 一覧画面を表示※
  - ※撮影した機器によっては、撮影ビデオ (AVCHD) 一覧画面を表示できない場合があります。

4 タイトルを選び、[決定]を押す

①選び
②決定する

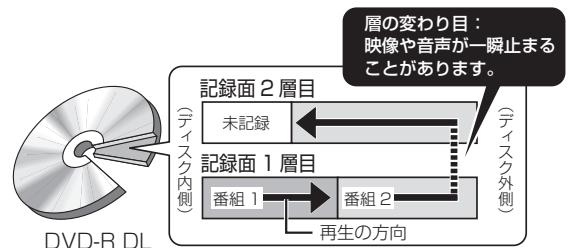
トップメニューや撮影ビデオ(AVCHD)一覧が表示されないときは
「ダイレクト再生」(**➜47**)を使って再生してください。

録画しながら再生するには(➜21)

映像が縦に引き伸ばされているとき(4:3映像で記録されているとき)
初期設定「TVアスペクト」(**➜106**)を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

暗証番号の入力画面が出たとき
設定した暗証番号を入力し、**[決定]** を押してください。

お知らせ

- ディスクによっては、再生が始まるまで時間がかかることがあります。
- 放送の内容によっては、DRモードで録画した番組の切り換わり部分や、番組の編集した部分などで、映像や音声が一瞬止まることがあります。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは**[■停止]**を押して停止させてください。
- -R DL 記録面が片面に 2層あります。1層目に収まらなかった番組は、2つの層にまたがって記録されます。(**➜右図「番組 2」**)
通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。

録画一覧について

録画した番組をラベルから探す

HDD

録画した番組は、番組の内容によって自動的に以下のラベルに分類されるため、たくさんの番組の中から見たい番組を探すのに便利です。

[◀][▶]でラベルを選ぶ

ラベル	内容
すべて	すべての番組
未 未視聴	録画してまだ見ていない番組（ 未 が表示された番組） ●再生後は、「 未 未視聴」から除外されます。
新 おまかせ	「新番組おまかせ録画」(➜34)で録画された番組（ 新 が表示された番組） ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「 新 おまかせ」から除外されます。
映画、ドラマ、スポーツなどの「ジャンル」	録画した番組の番組情報をもとに、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 表示するジャンルは変更することができます。**(➜44「分類ラベル設定」)** ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
撮影ビデオ	ディスク、SD カードや USB 機器から取り込まれたハイビジョン動画 (AVCHD)**(➜76)**

再生する(つづき)

録画一覧について(つづき)

HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

1 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[サブメニュー] を押す

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいジャンルのラベル(➜43)を選んでから [サブ メニュー] を押してください。

2 [▲][▼]で項目を選び、[決定] を押す(➜ 下記へ)

項目		説明
先頭から再生	HDD	続き再生メモリー機能(➜46)が働いているときに、番組を前回停止した位置から再生するか、最初から再生するか選ぶことができます。
つづきから再生	HDD	
番組消去		**消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。**消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀][▶]で「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認		番組名、録画日、チャンネル、ジャンル情報などの確認ができます。 **画面を消すには** [決定] を押す
分類ラベル設定 ●ジャンルのラベル(映画、ドラマ、スポーツなど)のみ	HDD	録画一覧に表示するラベルのジャンルを変更することができます。 **[▲][▼]で項目を選び、[決定] を押す** ●この操作を繰り返し、分類項目を絞り込みます。
全番組表示へ まとめ表示へ	HDD	全番組表示とまとめ表示を切り換えます。 まとめ表示: 毎日・毎週予約などで録画した番組をまとめて表示 全番組表示: すべての番組を一覧表示 [まとめ]番組を選び、[決定] を押すと、[まとめ]番組内の番組を一覧表示します。

新 マークの番組の再生

「新番組おまかせ録画」で録画された番組を再生し、停止した場合、予約画面が表示されます。

下記の操作を行うと、新 の表示は消えます。

引き続き予約する

1 [◀][▶] で「予約する」を選び、[決定] を押す

●番組表 (G ガイド) が表示され、次回放送分の番組が選ばれた状態になります。(番組によっては正しく選ばれない場合がありますので、予約したい番組が選ばれているか確認してください)

2 予約の操作を行う(➜22 手順 2 へ)

●手順 5 の番組予約画面では、「毎週予約する」と「毎日予約する」の項目が表示されます。

まとめ 番組の再生

HDD

番組を選んで再生する

1 [▲][▼][◀][▶] で まとめ 番組を選び、決定 を押す

2 [▲][▼] で再生する番組を選び、決定 を押す

●選んだ番組を再生します。

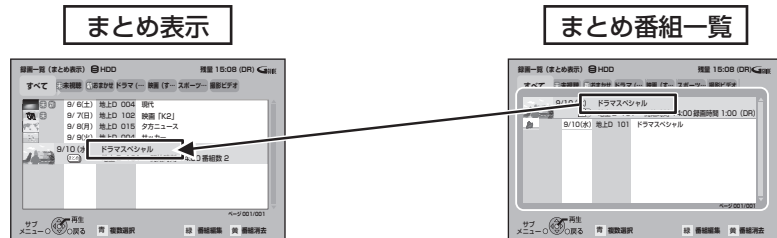
番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ表示中に [▲][▼][◀][▶] で まとめ 番組を選び、 を押す

● まとめ 番組内の番組を連続で再生します。

まとめ 番組の番組名について

HDD

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

まとめ表示　　　まとめ番組一覧

「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。(➜52)

●「すべて」ラベル選択時のみ編集できます。

●番組名を変更しても まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

HDD

●「すべて」ラベル選択時のみ編集できます

録画一覧（まとめ表示）またはまとめ番組一覧上で

1 [▲][▼] で番組を選び、青 を押す

● ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

2 すべて選んだあと、サブメニュー S を押す

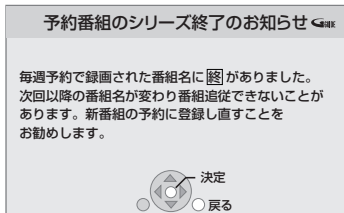
3 [▲][▼] で項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

項目	内容
まとめ番組の作成	選んだ番組を、1つにまとめます。 **[◀][▶] で「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **[◀][▶] で「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。（まとめ番組一覧表示のとき） **[◀][▶] で「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

毎日・毎週予約していた連続ドラマが終了したとき

お知らせ画面が表示されます。
このまま予約を続けると、次の新しい番組も同じ まとめ 番組に入ります。
予約一覧画面で「シリーズ終了」マークがある予約を取り消すことをおすすめします。

予約番組のシリーズ終了のお知らせ

毎週予約で録画された番組名に 終 がありました。
次回以降の番組名が変わり番組追従できないことがあります。新番組の予約に登録し直すことをお勧めします。

再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作

HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

操作	ボタン	説明
停止	[■停止]を押す	**続き再生メモリー機能** 止めた位置を一時的に記憶します。 [▶ 再生]を押すと、止めた位置から再生します。 ●HDD:番組ごとに止めた位置を記憶しますので、前回見た続きから見ることができます。 ●ディスク:前回止めた位置のみを記憶します。 ・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。 ・BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。 ●電源「入」時に、停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れた場合、記憶されません。
一時停止(静止画)	[II一時停止]を押す	●もう一度押す、または[▶ 再生]を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し(サーチ)	[◀◀サーチ/スロー]または[▶▶スロー/サーチ]を押す	押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。(5 段階) ●[▶ 再生]で通常再生に戻ります。 ●早送り1速時のみ音声が出ます。 ●ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。 ●BD-V 早送り・早戻し中は、主映像のみ再生します。
スキップ	再生中または一時停止中に [スキップ |◀◀]または[スキップ ▶▶|]を押す	押した回数だけ番組や場面を飛び越します。 ●チャプターマーク(➜56)がある場合は、その場面に飛びます。 ●HDD 番組を飛び越しません。ただし、まとめ再生中(➜45)は、[まとめ]番組内の番組を飛び越します。
30秒先へ飛び越す	[30秒送り]を押す	押すごとに、約30秒先へ飛び越して再生します。 ●BD-V DVD-V ディスクによっては正しく働かない場合があります。
10秒前へ戻す	[10秒戻し]を押す	押すごとに、約10秒前に戻して再生します。 ●BD-V DVD-V ディスクによっては正しく働かない場合があります。

早見再生（1.3倍速）	1.3倍速 [再生] **を約1秒以上押す**	通常よりも速い速度で再生します。 ●もう一度[▶ **再生**]を押すと、通常再生に戻ります。 ● -RW できません。（ファイナライズしたあとでも、できません） ●DR、HG、HX、HE、HL モードの番組や BD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) AVCHD の場合、映像がなめらかに再生されないときがあります。 ● BD-V 早見再生中は、主映像のみ再生します。
スロー再生	一時停止中に [サーチ/スロー] **または** [スロー/サーチ] **を押す**	押すごとに速度が速くなります。（5 段階） ●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。 ● BD-V AVCHD では、送り方向のみ働きます。 ●スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。（BD-V DVD-V AVCHD 一時停止しません） ● BD-V スロー再生中は、主映像のみ再生します。
コマ送り/コマ戻し	一時停止中に [決定]（左または右） **を押す** （[◀❚❚]または[❚❚▶]を押す）	押すごとに1コマずつ送り（戻し）ます。 ●押し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。 ●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。 ● BD-V AVCHD コマ戻しはできません。 ● BD-V コマ送り中は、主映像のみ再生します。
ダイレクト再生 BD-V DVD-V AVCHD	停止中（下の画面表示中）はタイトルを、再生中はチャプターを再生します。 [1]～[10]**（ふた内部）を押して、タイトルやチャプターの番号を入力する** DVD-V 2 けた入力　例）5：[10]➔[5]、15：[1]➔[5] BD-V AVCHD 3 けた入力　例）5：[10]➔[10]➔[5]、15：[10]➔[1]➔[5] ● AVCHD 撮影ビデオ（AVCHD）一覧が表示されているときは、働きません。	
時間を指定して飛び越す（タイムワープ） ● BD-V DVD-V AVCHD できません	**1** タイムワープ **（ふた内部）を押す** **2 飛び越し時間の表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、**[決定]**を押す** 飛び越し時間表示 約5秒間表示（0分　再生画面） ●飛び越し時間表示が消えたときは、もう一度[**タイムワープ**]を押してください。 ●[▲][▼]を押すごとに 1 分ずつ（押し続けると 10分ずつ）送り[▲]、戻し[▼]します。	

再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作 (つづき)

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

☞ **操作方法**(➜16)

音声の切り換え

音声切換(ふた内部)を押す

●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

HDD BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

音声L → 音声R → 音声LR

BD-V DVD-V AVCHD

音声情報 1日 DD Digital 2/0ch

(➜50「言語」)

● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示を押す

●押すごとに切り換わります。

例) HDD

再生中の番組名
約 5 秒間表示
○○○○○○○○
1:44.09
現在の再生位置
総再生時間
チャプターマーク位置を表示
HDD
再生 ▶
自動CM早送り入
ドライブ判別表示
動作状態など
自動 CM 早送り「入」時に表示(➜50)
地上D 011 録画1●
地上D 081 録画2●
裏で録画中のときに表示
ダビング 5%
高速ダビングの進行状況 / 別ドライブの動作表示

日付と現在時刻
残量の目安(例 : HDD 30時間15分)と現在の録画モード
9/ 6(水) 10:15.45
■ 残量 HDD 30:15 DR　BD 2:00 SP
■ T6　1:12.12 XP
1 T7　0:02.23 DR
2 T8　0:01.23 DR
1:44.09
HDD
再生 ▶
自動CM早送り入
地上D 011 録画1●
地上D 081 録画2●
再生中の番組番号/経過時間/録画モード
録画中の番組番号/経過時間/録画モード
画面表示なし

●撮影日時が記録されたハイビジョン動画 (AVCHD) を本機で記録した場合、画面の左下に撮影日時が表示されます。(1 倍速ダビング時を除く) ただし、撮影した機器によっては表示されない場合があります。

●**残量表示について**

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。(DR モードでは、特にそのばらつきが大きくなります)

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

準備 ●再生可能なディスクを入れる。

1 停止中に、スタートを押す

2 [▲][▼] で「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で「プレイリストを見る」を選び、決定を押す

4 [▲][▼][◀][▶]でプレイリストを選び、決定を押す

☞ **前の画面に戻るには**

戻るを押す

☞ **画面を消すには**

戻るを数回押す

BONUSVIEW 対応の BD ビデオや BD-Live 対応の BD ビデオを楽しむには

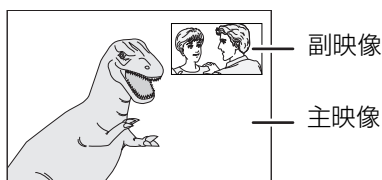
本機は、BD ビデオの再生機能である BONUSVIEW™ (BD-ROM Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile) や BD-Live (BD-ROM Profile 2)に対応しています。

●BONUSVIEW™　対応ディスクでは、ディスクに記録された本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングルの映像などの BD ビデオの副映像が楽しめます。

●BD-Live 対応ディスクでは、BONUSVIEW™ の機能に加え、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ブロードバンド環境でのご使用をおすすめします。

お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

副映像のあるディスクを楽しむ

例）

●副映像の音声を出力する場合、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」**(➜104)**を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは
再生設定「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**(➜50)**

●ただし、ディスクによって決められている再生方法が優先されるため、本機で設定したとおりに再生できない場合があります。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、追加コンテンツをダウンロードする必要があります。本機では SD カードにダウンロードします。

● 1 GB 以上の残量がある SD カード(SD スピードクラスの CLASS 2以上)をお使いください。

●インターネットに接続して BD-Live コンテンツを利用するには、アカウントを取得する必要がある場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。

準備

●ネットワーク接続と設定をする**(➜ 準備編 14、準備編 36)**
●**初期設定**「BD-Live インターネット接続」**(➜103)**を「有効」または「有効(制限付き)」に設定する

1 SD カードを入れる

●SD カードのメニュー画面が表示される場合は、**[戻る]** を押して画面を消してください。
●SD カードをフォーマット**(➜89)**してお使いになることをおすすめします。(フォーマットすると記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。すべて消去してよいか確認してから行ってください)

2 ディスクを入れる

●SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**(➜89、手順 4 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください)**

●映像を SD カードにダウンロードしながら再生する場合、通信環境によっては再生が一時的に停止することがあります。またダウンロードが済んでいない部分へのスキップができないなど、一部の機能が使えないことがあります。

●BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

再生する(つづき)

信号切換や再生方法の設定などをする

設定の基本操作

1 再生中に
[再生設定](ふた内部)**を押す**
●ディスクにより設定項目は異なります。

2 [▲][▼]でメニューを選び、[▶]を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す

4 [▲][▼]で設定を変える

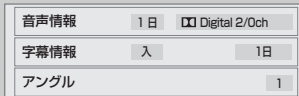
例) DVD-V

メニュー	設定項目	設定内容	
ディスク	音声情報	1日	LPCM 48k 16b
再生	字幕情報	入	1日
映像	アングル		1
音声			

メニュー　設定項目　設定内容

設定を終了するには
[再生設定]を押す

ディスク独自の機能の設定(ディスク)

設定項目	設定内容	
音声情報	1日	Digital 2/0ch
字幕情報	入	1日
アングル		1

映像情報
● AVCHD 情報の表示のみ

音声情報※
● DVD-V AVCHD 音声や言語を選びます。
(➜下記「音声属性/言語」)
● HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW
音声属性表示のみ

信号切換
[決定]を押して、さらに設定します。
● HDD BD-RE BD-R (DRモードの番組のみ)
映像や音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
▶ **マルチビュー**
▶ **映像**
▶ **音声**
▶ **二重音声**
▶ **字幕(オン/オフ)**
▶ **字幕言語(日本語/英語)**
● BD-V
▶ **主映像**
・**映像情報**
・**音声情報**
▶ **副映像**
・**映像情報(入 / 切)**
・**音声情報(入 / 切)**

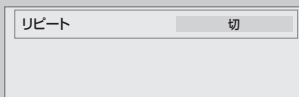
字幕情報※
● BD-V DVD-V AVCHD 字幕表示の入/切や、言語を選びます。**(➜下記「言語」)**
● HDD (DRモード以外の番組のみ)
RAM -R -R DL -RW 入/切のみ
(他機で録画したディスクなど、字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ切り換えられます)

音声チャンネル
● HDD (DRモード以外の番組のみ)
RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)
音声(L/R)を切り換えます。

字幕スタイル
● BD-V ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

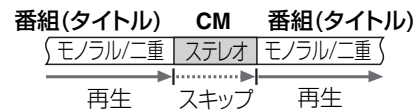
アングル※
● BD-V DVD-V アングルを選びます。

※ ディスクに収録されているメニュー画面(➜41)でのみ切り換えできるものもあります。
●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法の設定(再生)

リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
●繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
▶ **番組**　　　:番組全体
▶ **タイトル**　:タイトル全体
▶ **チャプター**　:チャプター
▶ **プレイリスト**:プレイリスト
▶ **全曲**　　　:ディスク全体
▶ **1曲**　　　:選んだ曲のみ

ランダム(音楽再生時のみ)
●順不同に再生します。
▶ **切**
▶ **入**

自動CM早送り
● HDD BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)
CMを自動的に飛ばして再生します。
音声が下記の場合のみ働きます。

番組(タイトル)　CM　番組(タイトル)
モノラル/二重　ステレオ　モノラル/二重
再生　スキップ　再生

・録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
例:上図のCM部分が5分以上の場合など
・以下の場合は働きません。
- DR モードの番組
- 外部入力 /DV 入力 /i.LINK(TS)入力から録画した番組
・設定した内容は電源を切っても保持されます。

〈音声属性〉
LPCM/Digital/Digital+/TrueHD/
DTS-HD MSTR/DTS-HD HI RES/DTS-HD LBR/DTS/
MPEG/AAC:信号タイプ
ch:チャンネル数
k:サンプリング周波数(kHz)
b:ビット数(bit)

〈言語〉

日:日本語	英:英語	仏:フランス語
独:ドイツ語	伊:イタリア語	西:スペイン語
蘭:オランダ語	中:中国語	露:ロシア語
韓:韓国語	＊:その他	

お好みの画質の設定（映像）

画質選択

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

再生時の画質を選びます。

▶ **ノーマル** ：標準
▶ **ソフト** ：ざらつきの少ない柔らかな画質
▶ **ファイン** ：輪郭の強調されたくっきりした画質
▶ **シネマ** ：映画鑑賞向け（DR モードの番組には効果がありません）
▶ **ユーザー** ：さらに画質を調整

[▶] で「詳細画質設定」を選び、[**決定**] を押す

・**コントラスト**（白黒の強弱）
・**ブライトネス**（画面全体の明るさ）
・**シャープネス**（鮮やかさ）
・**カラー**（色の濃さ）
・**ガンマ**（暗くて見えにくい映像の輪郭）

HDオプティマイザー

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ（➜134）

以下の場合に、プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

●**初期設定**「D 端子出力解像度」（➜**106**）を「D2」にして録画した番組を再生、または DVD-V を再生するとき
●**初期設定**「HDMI映像優先モード」（➜**106**）が「切」のとき

●プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

▶**Auto（標準）**：フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換
▶**Video** ：Autoでぶれが生じるとき

24 p DVD-V

[**初期設定**「24 p 出力」（➜**106**）が「入」の場合のみ]

24 p で出力するかしないかを設定します。「入」にすると、より映画らしい動きで再生することができます。

●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。
●ビデオ素材と一部のフィルム素材では効果がない場合があります。
●ディスクを取り出した場合、「切」に戻ります。

お好みの音声効果の設定（音声）

音質効果

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V CD AVCHD

ナイトサラウンド

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ **ナイトサラウンド**
▶ **切**

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。
●再生する内容によっては、効果がない場合があります。

シネマボイス

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

センターチャンネルを含む３チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを２倍に大きくしてセリフを聞き取りやすくします。

番組を編集する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

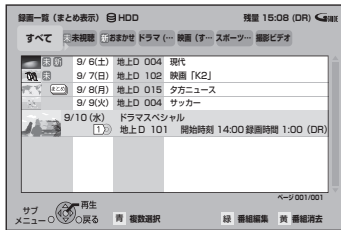
[ファイナライズしたディスクやハイビジョン動画(AVCHD)が記録されたディスクでは編集できません]

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)
- [HDD] または [BD/DVD] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ。

基本操作
①選び
②決定する

1 [録画一覧] を押す

2 番組を選び、[緑] を押す

- [サブメニュー] を押して、「番組編集」を選んでもできます。

例) HDD

複数の番組を選択するには
(「プロテクト設定 / 解除」のみ可能)
番組を選び、[青] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。
もう一度 [青] を押すと解除されます。

3 項目を選び、[決定] を押す(➔右記へ)

例) HDD

(➔54)

番組名を付ける / 変更する
番組名編集

誤消去防止の設定 / 解除
プロテクト設定 / 解除
- -R(V) -R DL(V) -RW(V) ではできません

番組の不要な部分の消去
部分消去
- -R(V) -R DL(V) -RW(V) ではできません

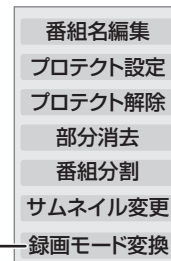
番組を2つに分割
番組分割
- -R(V) -R DL(V) -RW(V) ではできません

録画一覧やトップメニューで表示される画像(サムネイル)の変更
サムネイル変更
HDD -R(V) -R DL(V) -RW(V)

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[録画一覧] を押す

お知らせ

- 「録画モード変換」(➔54)が設定されている番組は、「番組分割」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 他の機器で作成したプレイリストがある場合、その元になる番組を編集すると、プレイリストは変更されます。
- 初期設定「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➔105)が「入」の場合、録画一覧画面を表示中に、約10分以上本機の操作を何も行わなかったときは、録画一覧画面は消えます。
- BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) 編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集はHDD上で行い、そのあとにダビングすることをおすすめします。

☞ **文字入力については(➜92)**
- 新 の表示がある番組は変更できません。
- まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

大切な記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定または解除ができます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

プロテクト設定すると表示

部分消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。部分消去してよいか確認してから行ってください。

4 再生 を押して、再生を始める

5 「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で 決定 を押す

6 再生 を押して、再生を始める

7 「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で 決定 を押す

8 続けて別の不要な部分を設定する場合（20 区間まで設定できます）
「次の区間設定へ」を選び、決定 を押す（➜手順 5 へ）
- 「次の区間設定へ」を選ぶと、すでに設定した区間の変更はできなくなります。

9 「消去開始」を選び、決定 を押す

10 「実行」を選び、決定 を押す
- 部分消去した場面には、チャプターマークが作成されます。

黒い部分が消去される部分です。開始点を含む場面から終了点の直前までを消去します。

分割すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

4 「分割」を選び、分割する場面※で 決定 を押す

☞ **分割する場面を確認するには**
「プレビュー」を選び、[決定] を押す
・分割する場面の前後 10 秒間が再生されます。

☞ **分割する場面を選び直すには**
① 「分割」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める
② 分割する場面で、[決定] を押す

5 「終了」を選び、決定 を押す

6 「分割」を選び、決定 を押す
- 分割した番組は、まとめ 番組になります。
- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」で確認のうえ、実行してください。

-R(V) -R DL(V) -RW(V) ファイナライズ後のトップメニュー画面で表示される画像を変更することができます。(➜91)
HDD「サムネイル変更」の設定は、-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速ダビングを行ったときのみ保持されます。

4 再生 を押して、再生を始める

5 「変更」を選び、お好みの場面※で 決定 を押す

☞ **場面を選び直すには**
① 「変更」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める
② お好みの場面で、[決定] を押す

6 「終了」を選び、決定 を押す

※編集したい場面をうまく選ぶために
① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜46、47)を使って、目的の部分を探す
② 編集したい場面で [❚❚一時停止] を押し、[◀❚❚] [❚❚▶] を押して場面を調整する

番組を編集する(つづき)

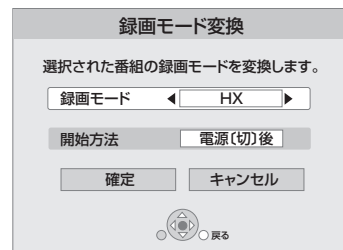
52 ページ手順 1 ～ 3 で「録画モード変換」を選んだあとに操作します。

録画モードの変換

録画モード変換

HDD

●DRモードの番組のみ

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。
録画モードを変換すると、HDD の容量をおさえることができます。
(録画モードと記録時間の目安 ➜37)

4 [◀][▶] で録画モードを選ぶ

5 [▼] で「開始方法」を選び、[◀][▶] で開始方法を設定する

- ●すぐに　　　：「確定」後すぐに、変換を開始します。
  変換中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- ●電源 [切] 後. ：電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

6 [▲][▼][◀][▶] で「確定」を選び、決定 を押す

7 「すぐに」変換を開始する場合：

[◀][▶] で「開始」を選び、決定 を押す

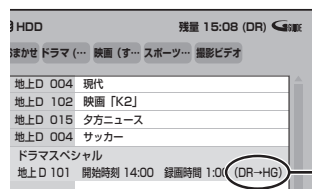
変換を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」変換を開始する場合：

決定 を押す

変換の設定内容を変更・取り消しするには

① 52 ページ手順3で「録画モード変換」を選ぶ
② [◀][▶] で「設定変更」または「設定取消」を選び、[決定] を押す
- ・**設定変更**：設定を変更します。(➜手順 4 へ)
- ・**設定取消**：設定を取り消します。

録画モード変換が終了しているか確認するには

録画一覧画面で「DR → ○○(変換する録画モード)」が表示されている場合、変換は終了していません。

お知らせ

- ●番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- ●変換後は、DR モードに戻すことはできません。
- ●複数の映像や音声などを含む番組を変換する場合、変換後の映像や音声は 1 つだけになります。
  記録する映像や音声を選んで変換したい場合、以下のようにしてください。
  ① 番組を再生し、**再生設定**「信号切換」(➜50)で変換したい音声などを選ぶ
  ② 番組の再生を停止する
  ③ 上記手順 5 で、「すぐに」を選び、変換を開始する
- ●「電源 [切] 後」を選んで変換する場合、電源「切」時の**再生設定**「信号切換」の設定で変換を実行します。

番組を消去する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-R DL** **-RW**

消去すると元に戻すことはできません。
よく確認してから実行してください。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ1など）
- ディスクの番組を消去する場合は、ディスクを入れる。

消去後のディスクの残量について

- **HDD** **BD-RE** **RAM** **-RW(VR)**
  消去すると、消去した分、残量が増えます。
- **-RW(V)**
  最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	・・・	最後に記録した番組	残量

- **BD-R** **-R** **-R DL**
  消去しても残量は増えません。

1 HDD または BD/DVD を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

- DVD の場合は、「BD」を選んでください。

2 録画一覧 を押す

例）HDD

3

1番組のみ消去する場合:

番組を選び、黄 を押す

複数の番組を消去する場合:

1 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

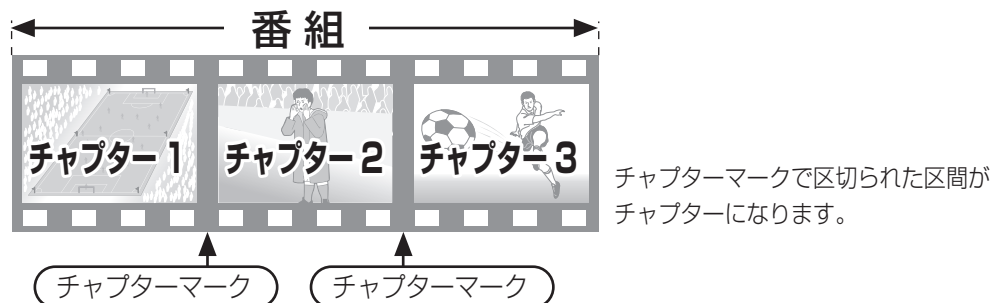
2 黄 を押す

4 「消去」を選び、決定 を押す

チャプターの作成・再生・編集

HDD BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)
（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます）

チャプターとは：チャプターマークで区切られた区間のことです。
番組のお気に入りの場面などにチャプターマークを作成すると、スキップ(➜46)したときに、その場面に飛ぶことができます。

チャプターマークで区切られた区間がチャプターになります。

最大チャプターマーク数
（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）
HDD ：1 番組あたり約 999 個
BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) ：ディスクあたり約 999 個
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ：1 番組あたり約 100 個

チャプターの自動作成について
- **初期設定**「自動チャプター」(➜103)を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。2 番組同時録画中でも 2 番組両方に作成します。（W オートチャプター）
- 自動 CM 早送り(➜50)が働く場面にもチャプターマークが自動的に作成されます。（1 番組あたり最大 98 個）（DR モードで録画した番組には作成されません）
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ
- HDD チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能(➜46)や「サムネイル変更」(➜52)ができなくなります。
- HDD 作成されたチャプターマークは、ダビングしても保持されます。ただし、最大チャプターマーク数を超えると、超えた分は保持されません。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で
［チャプターマーク］を押す

削除

一時停止中に
1. **［スキップ ⏮］または［スキップ ⏭］を押して、削除したい場面に飛ぶ**
2. **［チャプターマーク］を押す**
3. **［◀］［▶］で「はい」を選び、［決定］を押す**

前後のチャプターが結合されます。

お知らせ
- BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) 作成や削除を何度も繰り返すと、ディスクに記録や編集ができなくなる場合があります。

チャプターを再生・編集する

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、サブメニュー S を押す**

3 **「チャプター一覧へ」を選び、決定を押す**

4 作成する：

緑 **を押す**

（➔右記「チャプターマークの作成」へ）

再生する：

チャプターを選び、決定を押す

編集する：

チャプターを選び、サブメニュー S を押す

（➔ 手順５へ）

複数のチャプターを選択するには

（「チャプター消去」のみ可能）

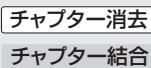
チャプターを選び、[青] を押す操作を繰り返す

- ☑ が表示されます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

5 **編集する項目を選び、決定を押す**

（➔右記へ）

チャプター消去

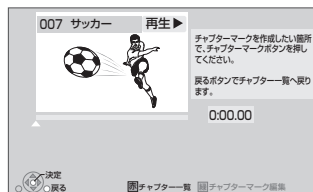
チャプター結合

前の画面に戻るには

 戻る を押す

画面を消すには

 戻る を数回押す

チャプターマークの作成

「チャプター一覧」からチャプターマークの作成をすることができます。

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

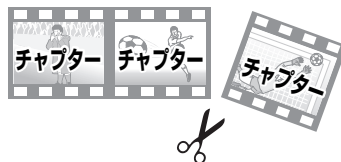
チャプターマーク **を押す**

削除するには

① 一時停止中に [⏮] [⏭] を押して、削除したい場面を選ぶ
② **[チャプターマーク]** を押す
③ 「はい」を選び、**[決定]** を押す

チャプター部分の消去

チャプター消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。

元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから実行してください。

「消去」を選び、決定を押す

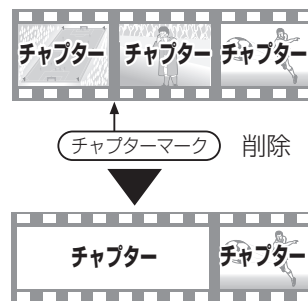
チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。

チャプターの結合

（チャプターマークの削除）

チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1つにつなぎます。

番組の録画内容が消去されることはありません。

前後のチャプターが結合されます。

「結合」を選び、決定を押す